

## 和歌山大学の紹介

ノガラ・アンジェロ（フランス・交換留学生・パリ第7大学）

和歌山大学は山の上にあつて美しい自然に囲まれ、施設も真新しいです。それに、その坂を毎日登るのはとても健康にいいです。



私が和歌山に着いた時、大学の国際教育研究センターの方に迎えに来て頂き、登録するために市役所へ、そして留学生の寮に連れて行って頂きました。大学の方々や留学生の世話を下さるボランティアの方々の親切さにとても驚きました。フランスに行く留学生は普通フランス人の学生と全く同じ待遇を受け、誰にも助けてもらわないし、事務室の人の怒ったような顔つきや目が回るほど複雑な手続きにぶつかり、「フランス人は外国人が嫌いだ」と誤解して途中で国に帰る留学生も多いそうです。私が和歌山で受けた大歓迎に比べると、やはり日本人はお客さんを歓迎するのが得意だなと思いました。

和歌山大学の留学生達は国際教育研究センターに集まれるし、コンピューターも使えるし、色々な外国人向けのパンフレットや情報も手に入られます。そして、みんな専攻が何であってもボランティアの先生と日本語を勉強できます。

フランスの大学で一番勉強したのは日本語の文法と漢字と単語でした。毎週漢字を20ぐらい、単語50ぐらい覚えなければなりません。それに対して、和歌山大学の授業では読解や聴解や会話の練習、それからテーマとして日本の文化や異文化理解が焦点となります。授業の最後に感想文を書くように求められることがよくあります。フランス人の学生は感想文など書かないので、私もあまり慣れていなくていまだに書くのが下手です。ちなみに、フランス人が感想文を書くとしたらほとんど批判ばかり書くだろうから、フランス人は書かない方がいいと思います。

日本語の授業以外に色々な授業をとることができます。例えば、私は前の学期に文化研究についてのゼミや異文化間コミュニケーションについての授業もとっていたし、今日本文学の授業も受けています。文化のゼミの先生方と学生達は私をレストランに招待して下さいましたし、私のためにたこ焼きパーティーも行って下さいました。フランスでは想像もつかないことですが、もちろんうれしかったです。大学の方々は留学生のためにスピーチコンテストや観光旅行や様々なイベントを毎年開いて下さっています。

和歌山大学に留学できて本当によかったです。楽しい一年間を過ごすことができとてもありがたいです。